

**「国際園芸博覧会基本計画（市案）等調査検討業務委託」に関する
プロポーザルに係る提案書評価基準（令和 2 年 4 月改定）**

表 1 の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表 2 のとおりとします。

採点が同点の場合は、評価事項のうち、提案内容の合計点数で再評価を行い、受託候補者を特定します。

表 1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (30 点)	管理技術者	本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	15		
	担当技術者	本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	15		
提案内容 (40 点)	本市の取組状況を把握しているか		10		
	調査の趣旨・目的の十分な理解に基づいた具体性のある提案であるか		20		
	独自の発想・視点を持った提案であるか		10		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組 (6 点)	次の項目を満たしているか <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 301 人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 <input type="checkbox"/> よこはまグッドバランス賞の認定の取得		6		
評点の合計（76 点満点）					

- (1) 予定技術者の業務実績は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点について、次のように配点を行う。

配点に $A = 5/5$ 、 $B = 4/5$ 、 $C = 3/5$ 、 $D = 2/5$ 、 $E = 1/5$ を乗じて算出する。

ア 予定技術者の業務実績の各項目

配点 15点 A=15点、C=9点、E=3点

イ 提案内容

配点 20点 A=20点、B=16点、C=12点、D=8点、E=4点

配点 10点 A=10点、B=8点、C=6点、D=4点、E=2点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 「提案内容」の評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似業務の実績の内容	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある※1	/	本業務に生かすことができる業務実績がある※2	/	本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
	担当技術者	同種又は類似業務の実績の内容	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある※1	/	本業務に生かすことができる業務実績がある※2	/	本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
提案内容	本市の取組状況を把握しているか		的確に把握している	把握している	どちらともいえない	あまり把握していない	把握していない
	調査の趣旨・目的の十分な理解に基づいた具体性のある提案であるか		十分な理解に基づいた具体性のある提案である	理解に基づいた提案である	どちらともいえない	あまり理解に基づいた提案ではない	理解に基づいた提案ではない
	独自の発想・視点を持った提案であるか		独自の発想・視点を持った、優れた提案である	独自の発想・視点を持った提案である	どちらともいえない	独自の発想・視点がやや乏しい提案である	独自の発想・視点が乏しい提案である
ワーク・ライフ・バランスに関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目を満たしているか		項目について1つ満たすごとに1点を加算する				

※1 国際博覧会、オリンピック等の国際規模のイベントの事業計画について実績がある

※2 全国都市緑化フェア、国民体育大会など全国規模のイベントの事業計画について実績がある